

白い森小国から



例年ならこの時期（執筆時は2015年12月中旬）は、陽が射すことなどほとんどなく、曇りか雪のどちらか。道路には雪の壁ができるのだが、今のところ雪は降っていない。しばらくは晴れが続くそうなので、愛車をイジることに!

文/今修 写真/編集部

明けましておめでとう御座います。昨年は皆様方のお陰で楽しい1年を送れました。そしてk-proも今年で16年目を迎える事が出来ました。

「ジムニーは楽しい!」、「ジムニーは面白い!」、そんなジムニーで皆さんと一緒に走れる事、ジムニーの話題で酒が飲める事、ジムニーを通じ沢山の方と知り合い、沢山の方に支えられ、走り抜けた15年間だった気がします。16年目はさらにジムニーひと筋で精進して参りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

純正品を使った技ありネタ

今冬は、自分にとっていい意味での異常気象が起きている。雪が降るのが遅く、この時期には珍しく太陽が顔を出したりしているのだ。もちろん寒いけど、やっぱり雪があるのとないのでは気持ちが違う。例年であれば、社屋の周りに置かれているレース用のジムニーやデモカー、部品取り車も全て本社倉庫の中で冬眠させ、自分の気持ちも冬眠状態…。雑誌等でスノーアタックの記事を見るけど、正直言って全く興味なし! なにせ、毎日家を出た瞬間からスノーアタックだからね～。できれば雪など見たくないのだ。

しかし今年は、まだ雪がない! よ〜し、キレイに洗車して本社倉庫にしまい込んだデモカーを引っ張り出し、作業し忘れていたパーツを取り付けよう!

晴れているとはいえ、気温は昼でも7℃までしか上がらないので寒い。ヒートテックを上下着込み、DBレーシング小野さんから貰ったYOKOHAMAのジャケットを羽織り、さらに大型ジェットヒーターを稼働させ作業開始。取り付け忘れていたパーツと言っても、大

げなものではない。しかし、意外に知らない人が多いようなので触れておこう。

以前からやっている事だが、トヨタ・ファンカーゴ用純正間欠ワイパーをジムニーJB23（※5型以降）に取り付けられるのだ。10型は、ワイパースイッチユニットを交換するだけでOK。5〜9型は、ユニットの上蓋を交換して取り付ける。その作業だが、ビス留めされているメーターフードとステアリングコラムカバーを外し、ワイパースイッチユニットを交換するだけと非常に簡単。ピギナーでも30分あればできるだろう。もしショップにお願いしても、工賃もさほど高くないと思う。

雨の日に使って感じるのは、やっぱり時間調整間欠付きのワイパーは便利ってこと。

有名なようで知らない人が多いカスタムメニュー



ファンカーゴ用の純正間欠ワイパーユニットを流用するのは、知る人ぞ知るJB23用の技ありカスタム。自動車メーカーの純正品だから品質は折り紙付き。雨天時のドライブの快適性と、安全性を高めるのだ。

灰皿とドリンクホルダーの二刀流はいかがですか?



灰皿の代わりにワゴンR用純正ドリンクホルダーを装着するのもメジャーなカスタム。1速と3速へのシフトチェンジ時に指をぶつけやすいので慣れが必要。特に500mlのペットボトルだと触れやすくなるし、4WDスイッチを押してしまうこともあるので要注意。携帯灰皿を使えるから実用性が高まる。

ジムニーの間欠ワイパーは時間調整機能が無いので、雨の量とワイパーの動きが合わず、濡れてもいないフロントガラスをワイパーが行ったり来たり。それを見ていると、なんかイラッとするのは俺だけかな? 値段も定価¥7,344(税込み)なので、高くないでしょ? ちなみに自分が乗り回してきたJB23は全て交換していた。

さて、せっかく間欠ワイパーを付けたので、K-proでお薦めしている『GPコート』もついでに施工しよう! GPコートはフロントガラスの撥水剤なのだが、一般の撥水剤とは耐久性が全く違うのがセールスポイント。施工のポイントは下地の処理。フロントガラスに付着している汚れやウロコを完全に落として、汚れなどを付きにくくするコーティングを施すのだ。一般的に売られている撥水剤は塗った時はいいけど、すぐに効果が無くなり、夜になるとギラツキが出るよね。あれは汚れを完全に除去してないのが原因。下地処理をきちんやりしてから耐久性のいいGPコートを施工すると、雨降りの夜のギラツキが少なく、ワイパーのビジリも起こりにくくなる。高速走行では雨粒を弾くので、視界がとってもスッキリするのだ! しかもオフロードで泥水をかぶった時などもメチャ汚れにくいし、夏はフロントガラスに着いた虫も落ちやすい。そんな性能が約1年間保てるのだから、一度塗ったらやめられない。俺の場合は贅沢だけど、レースの度にGPコートを施工している。安全性が高まるし、何よりも勝ちたいからね(笑)。

取り付けるパーツは、もうひとつある。そ

うホルダーにカップタイプの灰皿を差し込んで使い、ジュースを飲む時はサイドブレーキ後ろ側のホルダーに移動。カップタイプの灰皿だと車内のタバコの匂いも軽減できるし、吸い殻を捨てる時にも便利なのだ。

ただこのワゴンR 純正品カップホルダーは、ジムニーに取り付けて最大まで引き出した時、シフトノブに干渉してしまう…。それと5型以降の場合、大きめのペットボトルを入れた時に4WDスイッチを押してしまうことがある。注意点はこれくらいかな?

4型までだとそのまま取り付けできるのだが、5型以降は取り付けステー部分がちょっと違うので、スペーサーが必要。それと数ミリだけど、ステーを後ろ側に押し曲げる。スペーサーを付けずに取りつくと、本体にヒビが入る可能性がある所以要注意ですぞ!

本来ならこんな時期にわざわざやるような事ではないのだが、太陽が出て雪が積もっていないというだけでジムニーをいじりたくなるんだよね(笑)。この気持ち、雪国育ちの人ならわかるハズ! 雪との戦いもあと3ヶ月、春が待ち遠しいなあ〜。

効果が1年間持続する、超強力な撥水加工



ドライブ好きな人、高速道路を走る機会が多い人、競技を楽しんでいる人にオススメなのが『GPコート』。非常に強力な撥水剤で、なんとその効果が約1年間持続するのだ。気になる人は是非当店で!